

<白金標準、NY 白金の 4 桁回復で 4600 円の値固め・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領は、宣言通りに 12 日に鉄鋼、アルミニウムに対する 25%の関税を発動している。特に非鉄金属でもトランプ大統領が銅価格に対する調査を示唆したことから、シティグループは、今後 3 ヶ月で銅価格は 1 トン当たり 10000 ドルまで上昇すると予想している。特にトランプ大統領の関税政策は、大統領選挙では一律関税に言及し、しかし 2 月 14 日には相互関税の導入を政権に指示する処置の署名している。そのため関税の不確実性が高く、関税導入に備えて欧州市場から米国市場へ現物が移動する動きが加速し、ロンドン市場では白金リースレートは 5%を維持するなど現物不足が示されている。また NY マーカンタイ取引所のプラチナ指定倉庫には、18.1 トンまで在庫量が増加しており、関税に備える動きは衰えていない。

そのため NY 白金は、3 桁の価格が 4 桁を回復するなど 900 ドルから 1100 ドルに向けた動きを強めだしている。特に白金標準先物は、4459 円と 4451 円で W ボトムを完成させ、ボトム離脱から 4750 円へ向けた値動きを強めて来るとされる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル**も切り上げている。また RCI では**短期**が上昇し、**長期**も切り上げている。特に日足が **200 日移動平均線**に向けて動いており、強気を維持するのが妥当に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,090,000 円(2025 年 3 月 17 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2025 年 3 月 17 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>